



彼杵小学校だより NO. 11
「強く正しく 朗らかに」



(ホームページ) <http://www.kyoui.higashisonogi.jp/sonogi-syo/>

平成30年7月9日
東彼杵町立彼杵小学校
TEL 0957-46-0038
(文責 校長 原 源吾)

先週3日(火)は、台風7号の接近により暴風雨に襲われた1日となりました。学校では、たくさんの枝葉が散乱していたものの、幸いに校舎や体育倉庫等の被害はありませんでした。加えて、週末は、大雨特別警報が出されるほどの大雨が降ったことで、道路の冠水や川の増水に身の危険を感じました。この大雨で四国や中国地方等では甚大な被害が発生しています。同じ週にまさか2度も自然の猛威に遭遇するとは、予想していませんでした。今回の大雨で、児童の下校のさせ方やスクールバスの運行に関して保護者の皆様には大変ご心配をおかけし申し訳ありませんでした。今後も今回のような災害が発生する可能性がありますので、万が一の対応のあり方を再検討したいと思います。



台風一過の翌日、6年生が散らかった枝葉をきれいに片づけてくれました。ありがとうございます。

【全校集会(6月29日)】～彼杵っ子の心を見つめる教育週間～

今日は、ある物を持ってきました。これは、何だと思いますか。そう、ごみです。ゴミはゴミでも、川棚の海岸から拾ってきたゴミです。このごみを水が入った水槽に入れると、浮いているものがあります。その中に世界中で問題になっているプラスチックゴミがあります。プラスチックゴミとは、ペットボトルやレジ袋等のごみのことです。



この写真の場所はどこか分かりますか。そう、学校の前の三角駐車場のところです。ある朝、学校にきたら、このビニール袋を見つけました。すぐ近くに「ゴミを捨てないで」と書いてあるのに、いつも誰かが捨てているのです。このままにしたら、どうなるのでしょうか。風で吹き飛ばされ、川の中に行つてやがて海にたどり着いて……。海は、世界中つながっているから、日本で捨てたゴミが外国まで行くし、外国のゴミが日本に来ることもあります。そうやって、世界中の海にプラスチックゴミが浮かんでいるのです。そのままにしていたらどうなるでしょうか。世界中の海がゴミだらけになってしまいますね。そのことだけでも、大変なことですが、それよりも恐ろしいことが起こっています。

ゴミによって、動物や人間の命が危なくなっていると言ふことです。(網にからまつて動けない海鳥。プラスチックストローが鼻に刺さっているウミガメ等)



私たち人間がしたことで、何の罪もない動物たちの命が脅かされているのです。本当に申し訳ない気持ちになりますね。そして、もっと恐ろしいことは、このプラスチックゴミは、長い間海に浮いている内にマイクロプラスチックと呼ばれる米粒よりも小さい粒になってしまい、海の生き物たちがそれを食べてしまうということです。

私たちは魚を食べますので、もしかするとゴミを食べた魚を食べることになるかも知れません。とても怖いことです。

めんどくさい、捨ててしまえ、という自分勝手な考えが、動物や自分たち人間の命まで脅かすことになるのです。ゴミを捨てることが生き物の命を奪うことになることを忘れずに、これからも過ごしたいものです。



明日から、彼杵っ子の心を見つめる教育週間が始まります。道徳の時間や生活科・理科などで、人の命、動物や植物の命をなぜ大切にしなければならないのか、また大切にするためにはどんなことをしたらいいかなどを勉強しています。自分の頭でしっかり考えたり、友だちと話し合ったりなどして、命の学習に取り組んでいきましょう。

TOPIC 「ふれあいコンサート」

6月27日(水)に「ふれあいコンサート」を行いました。今年も以前彼杵小に務めておられた原 さとみ先生(現:花高小)の美しく伸びやかなソプラノの歌声と、ピアノ(佐々木優依さん), クラリネット(大橋理渚さん), フルート(永留結花さん)の優しく深みのある演奏に、心を癒された1時間でした。やはり、生の演奏はズーンと心に響きますね。



※裏面はありません。